



# 進路だより

げんきな子  
やさしい子  
まけない子  
あかるい子

福岡市立生の松原特別支援学校  
進路支援専科  
令和4年11月

## ○後期現場実習が終わりました

4週間の後期実習が10月28日（金）で終わりました。現場実習は11月下旬まで続きますが、今回も多くの実習先でお世話になっています。以下実習先の紹介をしますので、今後の見学等の参考にしてください。

## ○後期現場実習（校外）先の紹介

**生活介護** 糸島たんぼぼ(糸島市波多江駅北) いるかワーク(城南区片江)  
第一野の花学園(西区今津) ひかり作業所(早良区早良)  
風ひかり作業所(早良区四箇) プレミアムワークス城南(城南区片江)  
二丈しおさいの丘(糸島市二丈深江) 工房きすな(西区飯氏)  
ぴあすまいる西センター(西区上山門) 板屋学園(早良区四箇)

**生活訓練** 五灯館大学校(基礎課程)(中央区天神) 早良厚生園(早良区重留)  
サンハウス(西区羽根戸) しあわせ駅ファクトリー(西区今宿駅前)  
碧園(西区吉武) 第一野の花学園(西区今津)

**就労移行** 五灯館大学校(専門課程)(中央区天神) 木の実(糸島市前原中央)  
サンハウス(西区羽根戸)

**就労継続支援B型** しあわせ駅ファクトリー(西区今宿駅前) MUKA(糸島市志摩久家)  
NIHO(糸島市志摩御床) HATARAKU 畑楽(西区周船寺)  
FLAP(早良区田隈) ぷるるんまん(早良区飯倉)  
工房きすな(西区飯氏) 大地の恵み(白糸農園)(糸島市長野)

**就労継続支援A型** R101(早良区田隈) カルペ(早良区有田) スマイルラボ(西区姪  
浜駅南) レストランゆずのき(西区姪浜駅南)  
GINGA ELEVEN(西区壱岐団地)  
ラベンダーハウス(西区今宿東) ドリカムサポート糸島(糸島市高田)

**企業** お弁当のあじや(西区福重) ユニクロ木の葉モール店(西区橋本)

**入所・GH** 瑞穂学園(田川郡赤村) 板屋学園(早良区四箇) ナサフ株式会社(行橋市)  
わたつみの里(東区志賀島)

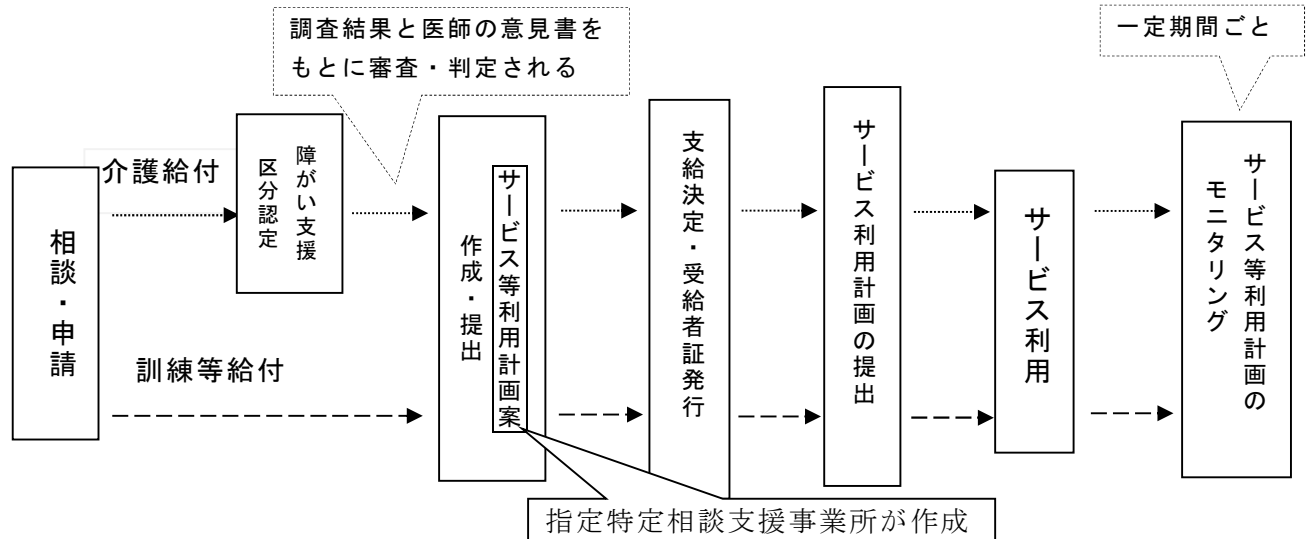
## ○卒業後のサービス利用申請について

高等部3年生は、今後進路決定に向けて大切な時期を迎えます。現場(校外)実習を終えて、本人・保護者の意向と実習先での反省会や評価をもとに、進路先の希望を決め、最終的に進路先が受け入れの判断をされます。進路先が決まったら、福祉サービス利用希望であれば、年内に福祉サービス利用の申請を区役所で行います。その後、必要に応じて障がい支援区分の聴き取り調査がなされ、支援区分の決定がされます。(すでに障がい支援区分が出ている生徒はありません) また、受給者証発行のために区役所に提出が必要となる『サービス等利用計画案』の作成を『指定特定相談支援事業所』に依頼します。(裏面へ続く)

『指定特定相談支援事業所』との契約がまだのご家庭は、『指定特定相談支援事業所』を早急に探して契約し、計画案作成を依頼することになります。

サービス利用までの流れについては、下の図でご確認ください。

## サービス利用までの流れ（進路の手引き P 18 参照）



### ○障がい支援区分とは？

18歳以上になると、福祉サービスの利用には、サービス種によって「障がい支援区分」が必要となります。「障がい支援区分」とは、「障がい者の障害の多様な特性そのほか心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すもの」と定義されており、「どれくらい支援が必要なのかの度合いを総合的に数値化したもの」です。区分は、【1. 移動や動作に関連する項目（12項目）】、【2. 身の回りの世話や日常生活等に関連する項目（16項目）】、【3. 意思疎通等に関連する項目（6項目）】、【4. 行動障害に関連する項目（34項目）】、【5. 特別な医療に関連する項目（12項目）】の全80項目の聴き取りが認定調査員により行われます。この認定調査項目と医師の意見書により、コンピューターによる一次判定を経て、各市町村の審議会の二次判定により決定されます。『障がい支援区分』は、区分1～区分6までの数字で判定され、数字が大きいほうが支援の度合いが高いとされています。

『障がい支援区分』は、卒業後に利用する福祉サービスの申請を区役所で行った段階で、認定調査項目の聴き取りの日程の調整が行われます。しかし、在学中に短期入所（ショートステイ）等の福祉サービスをすでに利用していれば、18歳になる誕生日の数か月前に『障がい支援区分』の聴き取りについて役所からお知らせが届くことになっています。

各項目の聴き取りでは、“単独で（アパートでの一人暮らしを想定して）、責任をもってできるかどうか”という立場にたって、答えることが大切です。また、実生活での介助や付き添い、声かけや見守り等支援内容を細かく説明し、記録してもらうことが重要です。普段から具体的な支援方法などメモしておかれるといいと思います。